

# 四條畷市スマートシティ推進フォーラムアンケート結果について

## 1四條畷市スマートシティ推進フォーラムについて

開催年月日：令和元年9月21日

開催場所：四條畷市立グリーンホール田原

## 2会場来場者数について

200人超

## 3アンケートの配布回収方法

フォーラム参加者にアンケート用紙を配布（100枚）、会場出口にて回収（57枚）。

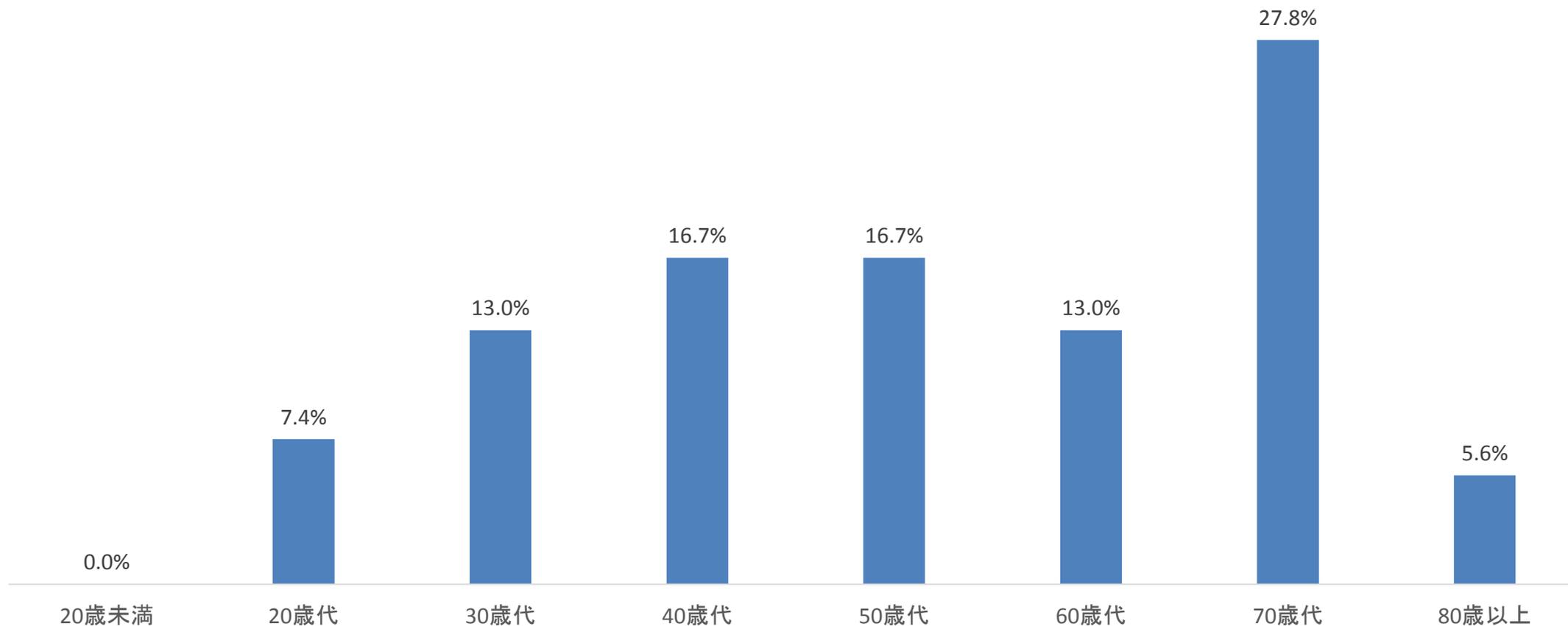
## 4数値の統計的な取り扱いについて

比率は百分率（％）で表し、少数第二位を四捨五入した数値で計算しているため、合計が100%にならない場合があります。

設問内容に無回答の項目は除いて集計しています。

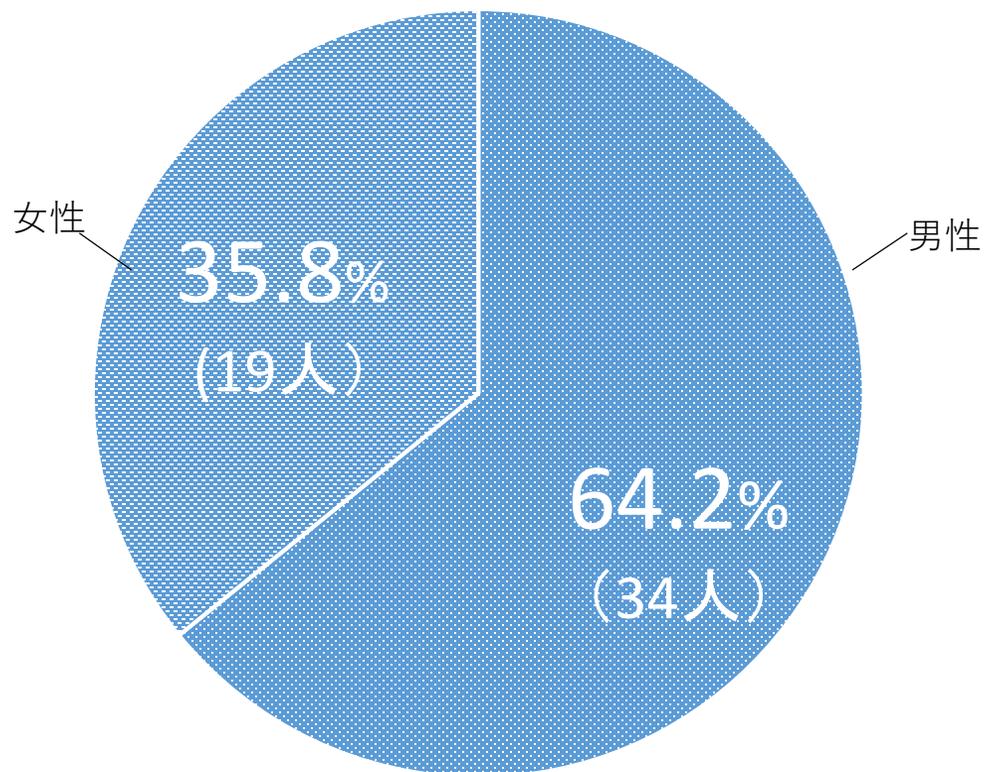
## Q1-1回答者の属性について（年齢） n=54

回答者のうち、70歳代が27.8%と最多。20歳未満の回答者はいなかったが、幅広い年代の方から回答をいただきました。



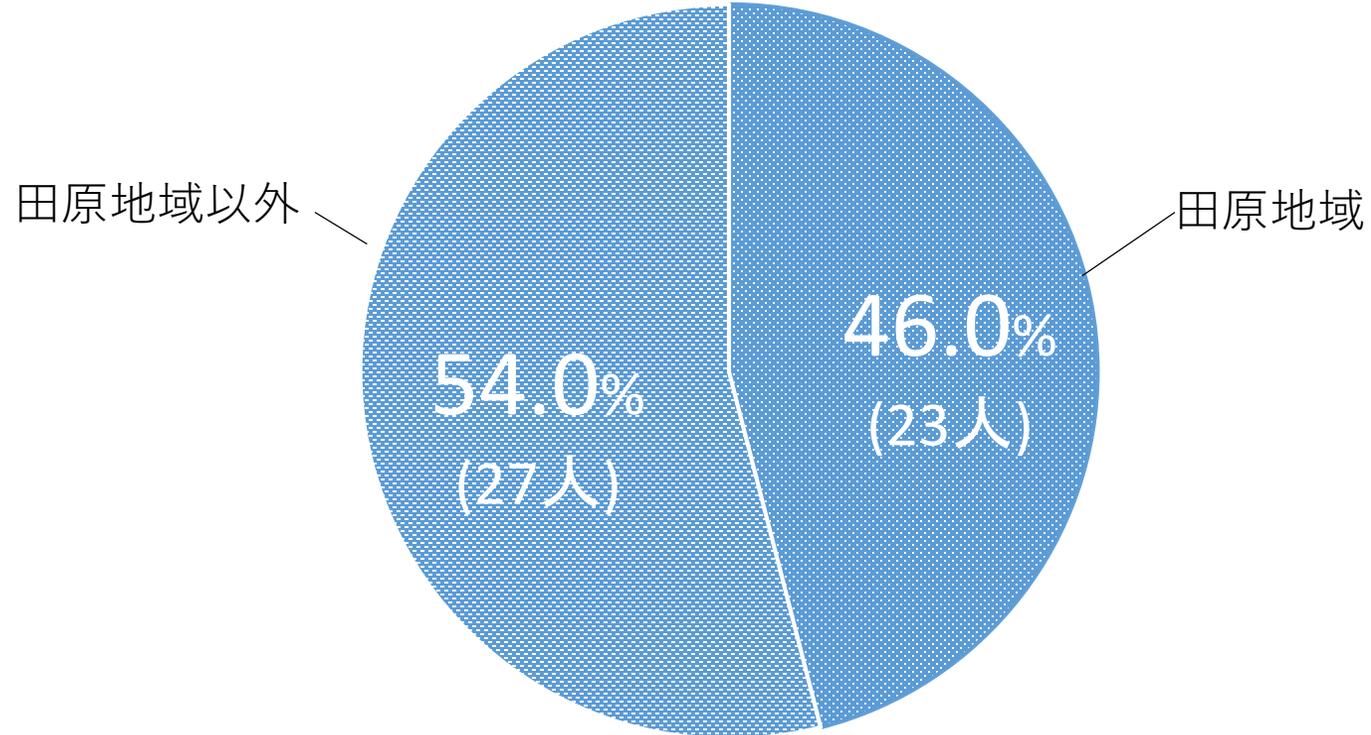
# Q1-2回答者の属性について（性別） n=53

回答者のうち、男性が64.2%、女性が35.8%でした。



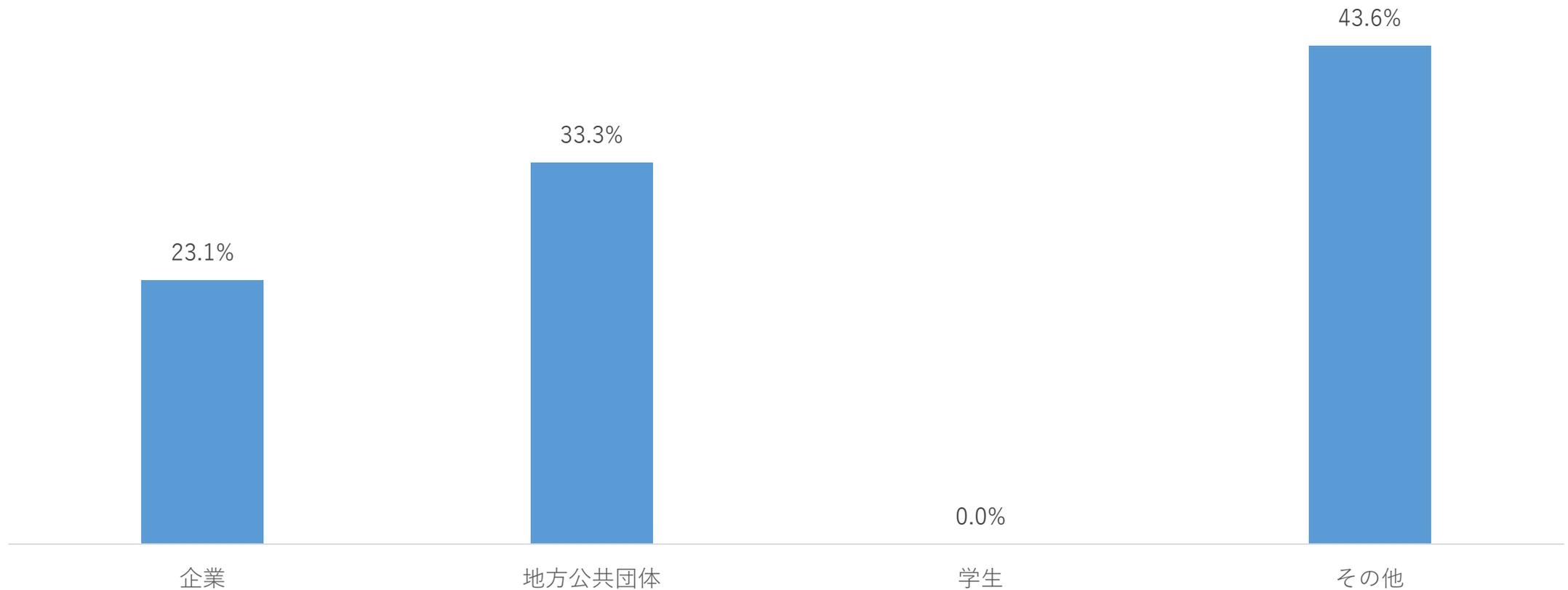
## Q1-3回答者の属性について（住所） n=50

回答者のうち、田原地域在住の方は46.0%。田原地域以外からの参加者は54.0%で、田原地域以外の参加者には大阪府内からの参加者に加え、兵庫県や奈良県からの参加者も見られました。



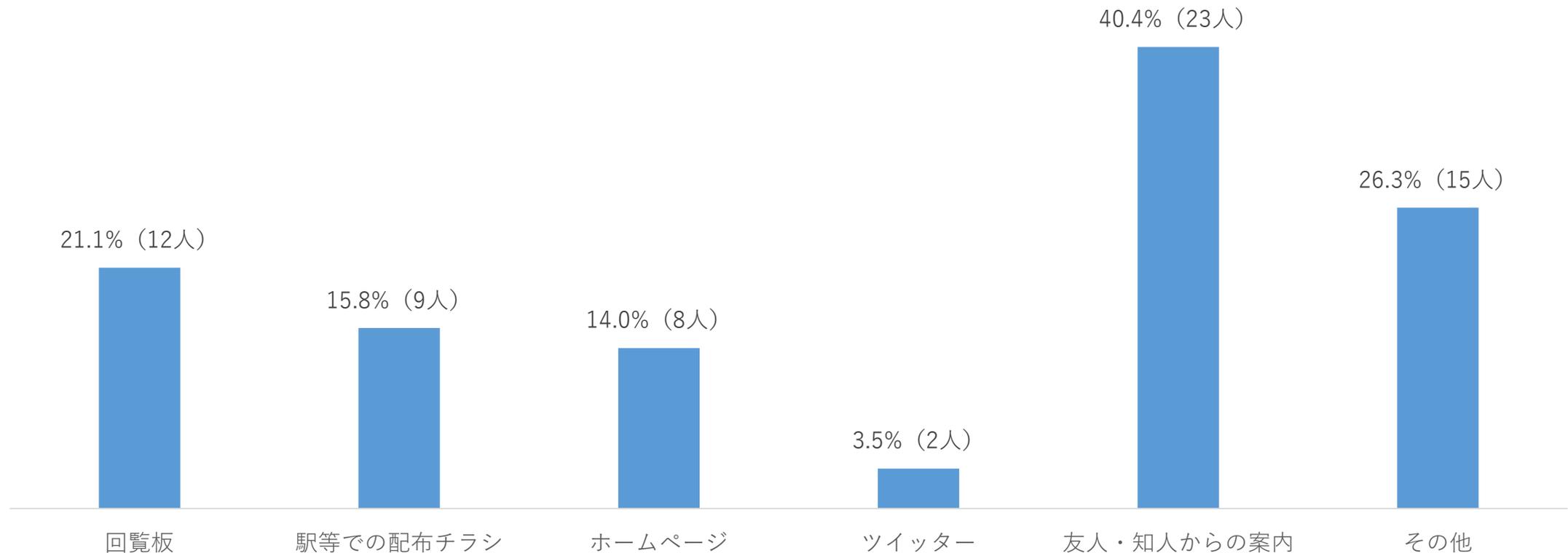
## Q1-4回答者の属性について（区分） n=39

回答者のうち、地方公共団体と企業からの参加者が56.4%。その他と回答した人は43.6%。  
多方面の方からの関心の高さが分かりました。



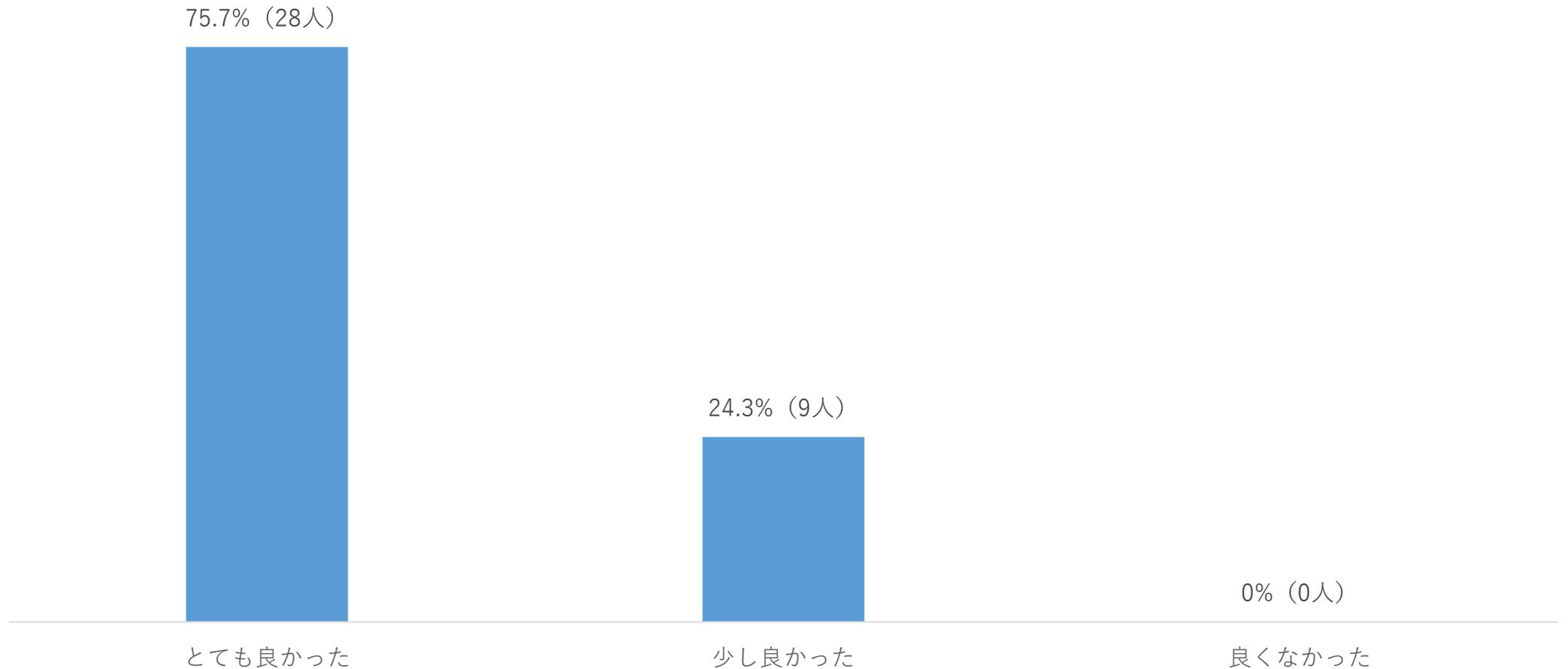
# Q2今回のフォーラムへの参加のきっかけ（複数回答可） n=57

回答者のうち、「友人・知人からの案内」が40.4%と最多。続いて、「回覧版」が21.1%。「その他」と回答した人のうち、田原支所での案内がきっかけとの回答が多くありました。



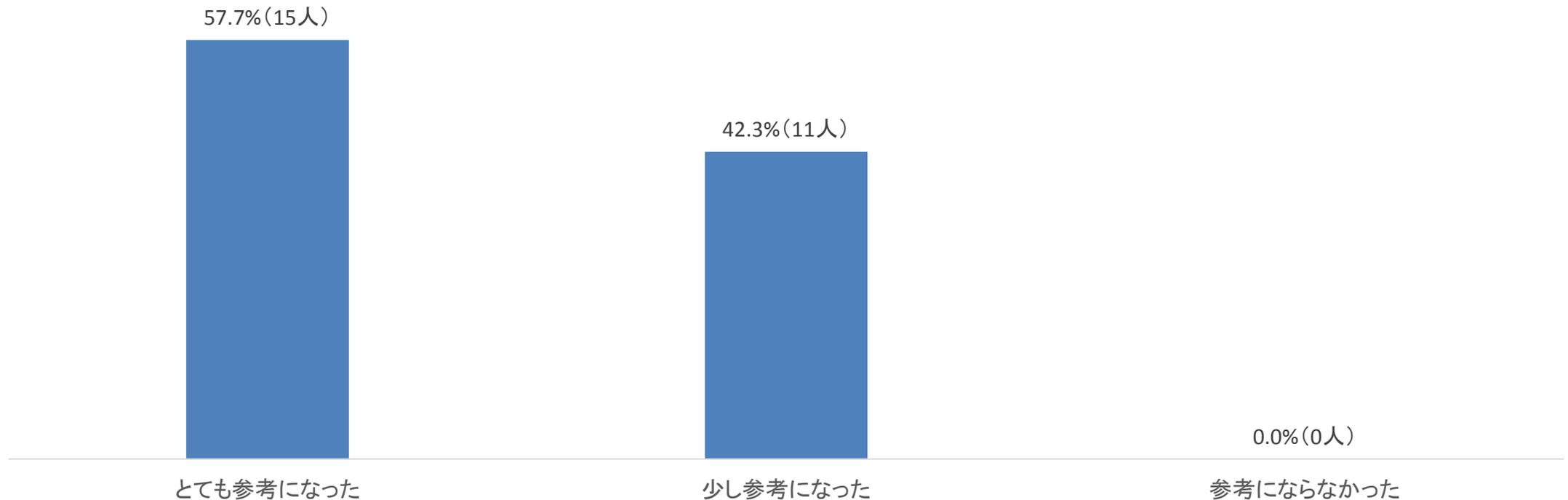
## Q3展示・体験コーナーについてn=37

回答者のうち、「とても良かった」と回答した人は75.7%。「少し良かった」と回答した人は24.3%でした。



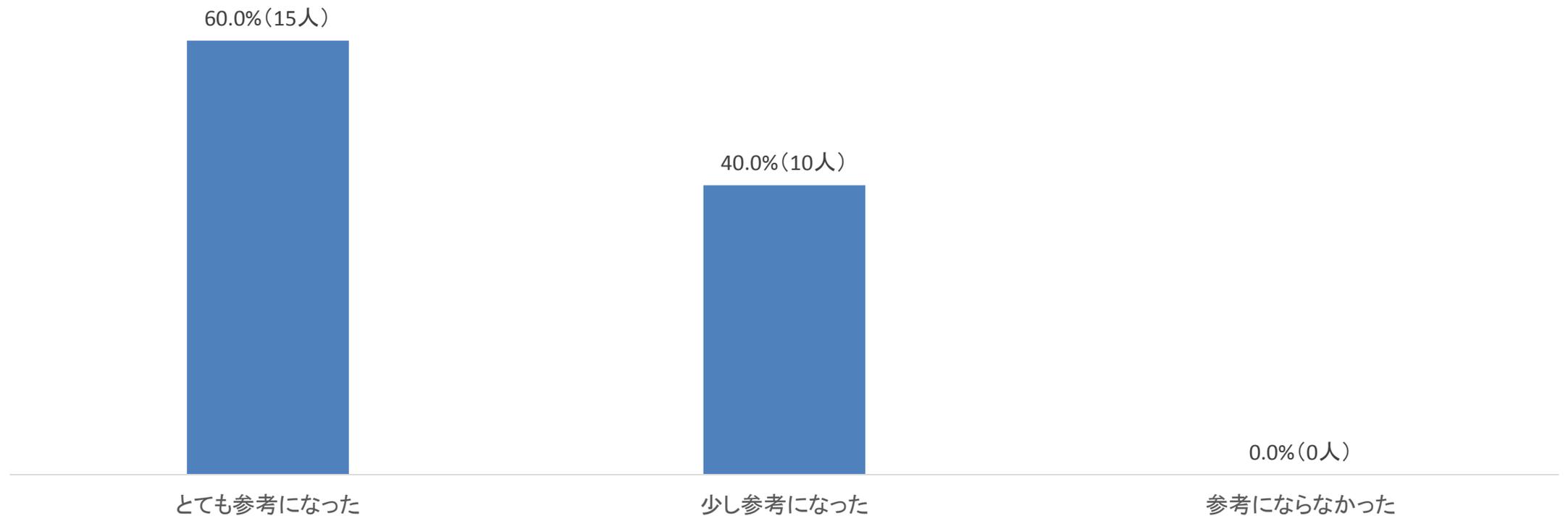
## Q4-1パネルディスカッション「身近なスマートシティ技術」についてn=26

回答者のうち、「とても参考になった」と回答した人は57.7%だった。「少し参考になった」と回答した人は42.3%でした。各企業のプレゼンテーションで紹介されたスマートシティ技術の一部を体験できるコーナーも多くの人で賑わいました。



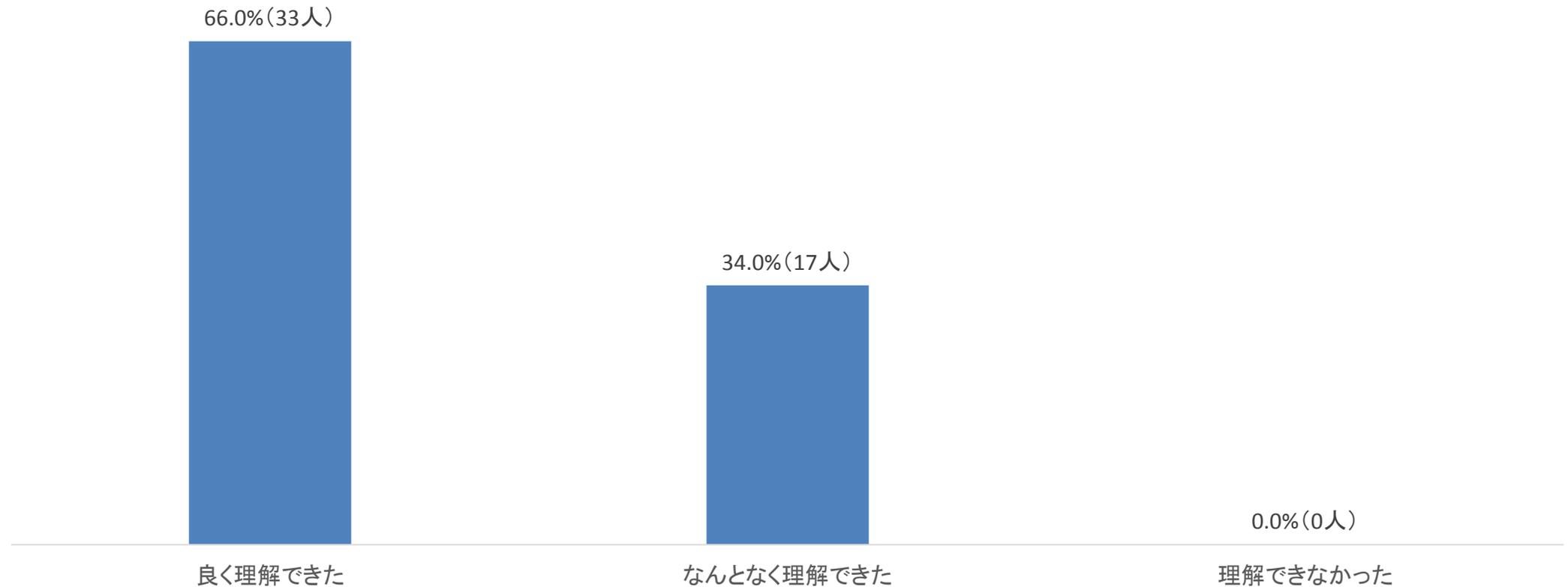
## Q4-2パネルディスカッション「未来に向けたスマートシティ技術」についてn=25

回答者のうち、「とても参考になった」と回答した人は60.0%だった。「少し参考になった」と回答した人は40.0%でした。



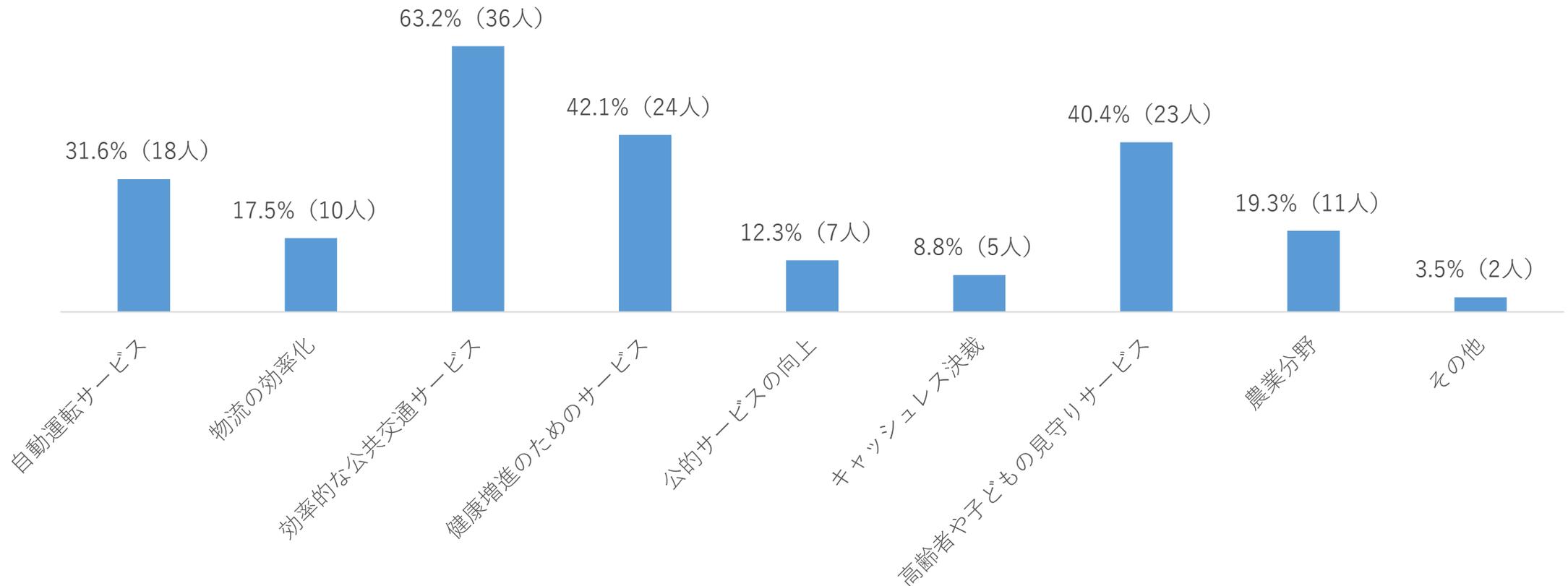
## Q5-1スマートシティに関する理解度についてn=50

回答者のうち、「よく理解できた」と回答した人は66.0%。「なんとなく理解できた」と回答した人は34.0%でした。



## Q5-2地域に導入すれば良いと考えるAIやIoTを活用したサービス分野について（複数回答可）

「効率的な公共交通サービス」と回答した人が63.2%で最多。「健康増進のためのサービス」、「高齢者や子どもの見守りサービス」、「自動運転サービス」や「農業分野」での活用を求める回答も多くありました。その他では、「翻訳」「防災」分野での導入を求める回答がありました。



## Q6フォーラムについて、主なご意見・ご感想

-とても興味深くお話を聞いていました。大切なのはサービスや技術だけでなく、使用するユーザー・市民の考え方や行動、選択なのだと思いました。SDGsにある「誰ひとり取り残さない」という考えで、スマートシティ化をすすめていただきたいと思います。

-IT.AIの先端技術が有効に使われていく事で、老人や子供が過ごし易くなる日が、1日でも早く体感できればと思います。共働き家庭が増える中、田原の町に、24時間ずっと居てる子供や高齢者をIT.AIで支える仕組み作りも充実させて欲しい。

-歩行年齢を計っていただきましたが、最近歩行寿命を延ばそうといわれています。このような機会を多くの人に広めてもらい歩行寿命を延ばすために田原地区高齢者検診の一つとして3分間歩行を測れる機会が出来ればと思います。KCNでロボットの発言がありましたが、一人暮らしの高齢者は話し相手が欲しいのでうまく開発して購入の仕方も判らないので上手に融合させれば良いと思います。

-市民目線で難しいIT技術の説明をわかりやすく展開されているのはとても良いことと思いました。また、とぎれている情報、技術をつなげることで、持続可能なまちづくりになること、また、住民主体で、その課題を解決していくための技術を利用するモデルを大阪府全域そして国全体に広がっていくことが、このフォーラムから発信できていると思いました。

-田原の住民なら、主体的に動くことができると思いました。データの管理にはまだ不安はありますが努力課題でしょう。

## Q6フォーラムについて、主なご意見・ご感想

-これからの世の中について、色々と考えさせられました。技術面だけでなく、倫理観（行政、企業など）が大切だと思いました。ありがとうございました。四條畷に住んでますが、四條畷市ほんとに変わったと思いました。地元を誇りをもてるようになりそうです。

-四條畷市におけるスマートシティ推進の取組意義、方針等がうかがえたので、非常に勉強になりました。また、連携企業の役割も知ることができ、今後具体的にどのような技術でスマートシティ化していくか楽しみです。

-何となくイメージは持っていたが、実際にどのようにして実現していくのか、これからもいろいろと知っていききたい。

-市民の理解度の進展に合わせて、引き続きこの様なフォーラムを続けてもらいたい。

-素晴らしいプレゼンター、パネラーを集められていて御市の意気込みが伝わりました。高齢の出席者も多かったので、休憩は増やしても良かったと思います。

-高齢の方には理解しづらい用語が多く出てきてその説明が欲しかったです。「WiFi」「5G」「チャット」「BWA」など・・・そもそもスマホ利用者以外の人には判りにくい講演だったかも・・・？

-スマートシティでどんなもんか、むつかしいかな？楽しく教えてもらえました。どのコーナーも聞きやすく、良かったです。